

2014. 10. 26

# NPOフォーラム・だより No.62



NPO法人安房文化遺産フォーラム  
代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト http://bunka-isan.awa.jp

**会員・寄付募集中!** ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム  
年会費=A会員 2,000 円(総会出席権あり)/B会員:個人 1,000 円(ニュースのみ送付)・法人 10,000 円

## ■ ヘリテージまちづくり講座:

### \* 館山ゆかりの佐倉バスツアー~佐倉市立美術館・順天堂記念館・旧堀田邸

◎ 11月11日(火) 7:30 安房自然村 7:35 平砂浦ふれあいショップ 7:50 館山市役所4号館駐車場

参加費 2,000 円(入館料・昼食・保険料) 定員 25 名(会員限定) 要申込先着順

- ① 佐倉市立美術館では、浅井忠の弟子展Ⅱの鑑賞と、館山に在住し児童自由画教育の普及に尽力した画家倉田白羊について美術講座を聴講。同館には富崎尋常小学校で指導を受けた児童(吉田源七)らの作品を所蔵している。館山市立図書館には、友人であるもう一人の青木茂(『三太物語』の著者)の遺族が寄贈した白羊画『水門』が所蔵されている。なお、白羊の妻英子は、渡米シモンレーの機械式潜水アソビ漁に成功した小谷源之助・仲治郎の妹である。
- ② 順天堂記念館(県指定文化財)は、近代医学の発展に貢献した佐藤泰然が始めた蘭医学塾。養子の佐藤尚中が後に責任者となった大学東高(現東京大学医学部)で、館山出身の資生堂創業者・福原有信も学んだ。
- ③ 旧堀田邸(国重要文化財)は、最後の佐倉藩主で佐倉に農事試験場を創設した堀田正倫の邸宅。妻伴子の父は、安房北条に居住し促成栽培や殖産興業を推進した万里小路通房伯爵である。

### \* 講演会:明治に活躍した館山ゆかりの人びと②~渋沢栄一と福原有信をめぐって

◎ 12月7日(日) 13:30~15:30 館山商工会議所

講師:井上潤氏(渋沢史料館長) 愛沢伸雄(NPOフォーラム代表)

500 近い銀行や企業を設立し近代経済の礎を築くとともに、公益を追求した渋沢栄一は、教育や福祉の分野でも大きな足跡を残している。現在の船形学院は、東京の虚弱児童を療養する「東京養育院安房分院」として設立され、渋沢は生涯院長の任を務めた。館山出身で資生堂創業者福原有信の長女とりは館山病院初代院長の川名博夫に嫁ぎ、四女美枝は渋沢の次男武之助に嫁いでいる。その姻戚関係により、渋沢の渡米時には、館山病院二代目院長の穂坂与明(川名の女婿)が随行している。

◎ 見学会:渋沢栄一の書による磨崖碑 集合:10:30 船形学園玄関前

## ■ 戦跡ガイド学習会~布良陣地フィールドワーク

◎ 1月24日(土)10:00~12:00 富崎公民館

館山市最南端の布良地区は、望楼や陣地などの重要な戦争遺跡が多い。「戦後 70 年」の幕あけには、戦跡ガイド学習会を兼ねて、フィールドワークを実施する。

**予告** 「戦後 70 年」の 2015 年 9 月 5・6 日には、第 20 回戦争遺跡保存全国シンポジウム大会を開催決定! 館山の戦跡を舞台に制作された映画『赤い鯨と白い蛇』を上映予定。

## ◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

10月27日(月)11:00~15:00 パルスシステム千葉運営部 7 名=座学・基本

11月 2日(日)9:30~12:00 赤山ガイドサービス

11月 2日(日)14:10~15:10 船橋・南浜診療所健康友の会 24 名=赤山のみ

11月 9日(日)11:00~16:00 東京土建西東京支部 40 名=座学・赤山・かいた村

11月21日(金)10:30~11:40 加須市交通安全協会大利根支部 25 名=赤山

11月23日(日)9:00~12:00 法政大学大学院政策創造研究者 4 名=座学・赤山・布良

10:00~16:00 横浜市立高校教職員組合 20 名=座学・赤山・掩体・かいた村

12月 5日(金)10:15~12:15 市川17銀遊会 30 名=座学・赤山

12月 7日(日)9:30~12:00 赤山ガイドサービス

毎月第一日曜の午前は、個人・小グループ向けに赤山地下壕のガイドサービスをしています。

# 小谷家住宅の修復工事がいよいよ始まります。

東京新聞 2014.5.18

修復工事後、一般公開されることになった小谷家住宅＝いずれも館山市で



## 青木繁が逗留「小谷家住宅」

### 館山 関係者の熱意結実

明治期に夭折した洋画家青木繁が逗留した館山市布良の「小谷家住宅」が、二〇一六年四月の一般公開を目指し、本年度から二年をかけて修復されることになった。代表作「海の幸」が描かれた家の存続を願う関係者の熱意が結実しつつある。（北浜修）

# 名画描いた家残る

## 公開目指し修復へ／観光に期待

ちばライブ Chiba Live



①室内に飾られている青木繁の写真 ②青木が滞在した部屋には「海の幸」（複製画）がある。右は小谷福哲さん



小谷家住宅は約九十平方メートルの平屋で築約百二十年。小谷家は江戸時代から戦前まで、布良の網元だった。経緯は不明だが、青木は一九〇四（明治三十七）年夏、知人らと二カ月ほどこの家に滞在。サメを担いで海岸を行く漁師たちを描いた日本洋画史上の傑作「海の幸」を残した。

小谷家住宅は二〇〇九年、館山市有形文化財に指定されたが、老朽化で屋根など傷みが激しい。現在の当主小谷福哲さん（六三）と、市民グループ・青木繁へ海の幸誕生の家と記念碑を先代夫妻は転居する。母屋

に残りは、三者が今後も地元有志や各地の青木繁ファン、画家らに支援を求めていく。管理棟への改築にも約千八百万円かかるが、NPO法人の支援のほか、小谷家の資金などを充てる。



保存する会（館山市）、NPO法人青木繁「海の幸」会（川崎市）の三者が連携し、保存へ動いてきた。現在、母屋の住宅には先代当主、栄さん（八〇）夫妻が居住する。計画では、工事に伴い、母屋に隣接する別棟を管理棟として改築し、元有志や各地の青木繁ファン、画家らに支援を求めていく。管理棟への改築にも約千八百万円かかるが、NPO法人の支援のほか、小谷家の資金などを充てる。

あおき・しげる 1882（明治15）年、福岡県久留米市生まれ。東京美術学校（現在の東京芸術大）を卒業した22歳のとき、恋人の福田たねや友人と館山市布良に滞在し、「海の幸」を描く。絵の中に出てくる白く美しい顔の人物はたねがモデルとされる。たねとの間に1男をもうけたが、結婚はしなかった。天才画家と評される一方で、放浪し画壇を批判するなど不遇の時を送る。1911（明治44）年、28歳で病没。

住宅から徒歩数分の所には「海の幸」に描かれた海岸を見下ろす高台があり、一九六二年に建てられた青木繁没後五十周年の記念碑がある。誕生の家と記念碑と一体で、館山の新たな観光スポットにもなりそう

だ。青木繁（海の幸）誕生の家と記念碑を保存する会事務局の池田恵美子さん（五三）は「建物の維持や管理、公開など、修復後の運営にも多くの方々の支援をいただきたい」と呼び掛けている。

**小谷家住宅の修復基金にご支援をお願いします！**  
館山市ふるさと納税で、「小谷家住宅の保存・活用に関する事業」を指定すると、税金の優遇措置が受けられます。詳しい問合せ・申込は、NPO事務局または館山市企画課（0470-22-3163）へ。

**青木繁「海の幸」オマージュ展**  
in 田園調布 12月6日～21日  
小谷家修復基金のためのチャリティ展  
MIZOE ART GALLERY 03-3722-6570